

## 平成30年度第3回浦安市子ども・子育て会議議事録

- 1 開催日時 平成31年3月25日（月）18：30
- 2 開催場所 浦安市役所4階 S2, 3会議室
- 3 出席者  
(委員) 大日向会長、柏女副会長、吉田委員、新藤委員、男全委員、佐々木委員、田村委員、松田委員、中島委員、大塚委員、上内委員、田原委員、谷口委員  
(事務局) 健康こども部 岡本部長、大塚次長  
こども課 河野課長、杉町係長、水島  
東野児童センター 河野所長  
保育幼稚園課 三代川課長、岡本課長補佐、杉本係長、多田係長  
青少年課 平林課長、飯塚補佐、石井係長  
母子保健課 高柳課長、早川課長補佐  
こども家庭支援センター 熊川所長、八田主査  
こども発達センター 河林所長

### 4 議事

- 1) 基礎調査の報告について 資料3-1-1  
子ども・子育て支援総合計画策定の構成（案）について 資料3-1-2
- 2) その他  
幼児教育の無償化について 資料3-2-1  
放課後うらっこクラブの運営について 資料3-2-2  
浦安市における要保護児童の現状と対応について 資料3-2-3  
新年度体制の報告

### 会議経過

#### 1. 開会

事務局：これから浦安市子ども・子育て会議第3回会議を始めます。

本日15名の委員のうち、12名の委員の方に出席いただきました。浦安市子ども会議条例により過半数を超える出席がありましたので、本日の会議が成立している事をご報告します。

情報公開について、この会議は公開することとなっており、手続きにより傍聴することができます。また、本会議はHPにより公表されます。

～ 配布資料の確認 ～

会長：皆様こんばんは。早速、議事に入らせていただきます。最初に基礎調査の報告について子ども・子育て支援総合計画策定の構成（案）について、事務局から一括でご説明をお願いいたします。

## 2. 議事1：基礎調査の報告について

### 子ども・子育て支援総合計画策定の構成（案）について

～ 事務局説明（資料3-1-1、資料3-1-2） ～

- 会長： ありがとうございます。ただ今のご説明について、ご質問やご意見がありましたらお願いいたします。
- 副会長： 1ページの小学生の保護者の回収数は450票ですが、これは浦安市の小学生の保護者の何%ぐらいにあたるのでしょうか。この数字に信頼性があるのかどうかを確認したい。
- 事務局： 450人が何%にあたるのかは、今この場ではわからないので調べてからお答えしたい。
- 副会長： 次回からは、市民調査は回収率も悪いので、就学前調査と小学生調査の2つにした方がいいのではないのでしょうか。また、前回比較を質問のポイントを絞って入れてもらいたい。
- 事務局： 前回と調査の聞き方が異なっている設問については、比較が難しいものもあるが、今、事務局で確認中です。
- 会長： 確かに、聞き方が違う場合、単純に比較ができないものもあるかと思いますが、可能な限り比較をお願いいたします。市民調査の回収率ですが、たしかに高いとは言えませんが、一方、全国的に比較してみましても、必ずしも低いとは言えないようにも思います。なお、母集団の全市民がどのくらいかについて、後日で結構ですので、お示しをいただけたらと、お願いいたします。
- 委員： 今回は時間的な面でやむをえないのかなとは思いますが、市の行政方はこの説明をなげかけて言おうとした結果は、想定内の出来高なのか、4年前と変化はあるのか。この結果をみた素直な感想をお聞かせいただきたい。
- 事務局： 保育の状況は、ニーズは確実に高まっていることは読み取れます。今回の無償化については、無償化したら必ずニーズが高まるといいきれないところもあります。あくまでの調査なので、実際に保育園の申し込み状況は、今年度は、ほとんど申し込み量は変わっていないが、次年度以降、これはもっと世の中に周知されれば、状況が変わってくるかどうかというのはわからないところであります。
- 委員： 家庭類型というのは、次期計画を策定する際の教育・保育や子育て支援の需要の見込みを出すためのてがかりであって、この会議でも他の委員さんのご意見をいただ

く際にここが重要だと思しますので、それに対する業績も含めて、前回5年前の調査との比較を含めたデータを提示していただいたほうが、この会議としての議論も進むかと思しますので、次回、整備したデータを出していただければと思います。

会長： 今回は、あくまで速報ということでしたので、今の委員さんのご意見を踏まえ、今後データをご提供いただければと思います。

副会長： 計画の構成案の第2章、進捗達成状況についてであるが、できたもの、できなかったものは何か、なぜなのか、そのことを市としてどう評価するのかを書きこんでいくことが重要である、またそのときに子育てしやすいまちの評価など、5年前との比較を入れてアウトカムとしてもみていただく必要があります。

### 3. 議事2：その他

幼児教育の無償化について

放課後うらっこクラブの運営について

浦安市における要保護児童の現状と対応について

新年度体制の報告

～ 事務局説明（資料3-2-1、資料3-2-2、資料3-2-3） ～

会長： ありがとうございます。

最初は、幼児教育の無償化について、何かご質問やご意見はありますか。

委員： アンケートによると、幼児教育の無償化によりニーズ量はあまり変わっていないという報告もありましたが、幼児教育の無償化により、浦安市のかかえる待機児童はどのような関係性があるのか、待機児童数は解消するのか、それとも関係性はないのですか。

事務局： 先行して無償化を行った明石市は、待機児童が7%増えたという統計が出ている。今回は全国的な無償化となるが、無償化による影響については、核家族が多い本市においては、すでに保育ニーズが高まっているとも考えられるし、今後の無償化により待機児童数がどうなるのかについては、なかなか今の段階では、推計を出すことは非常に難しいと考えています。

会長： ありがとうございます。

次は、放課後うらっこクラブについて、何かご質問やご意見はありますか。

委員： 実際に、小学生が2人おり、東小のモデル事業を活用しているが、ランドセル来所は非常に助かっており、ぜひ浦安市全域で進めてもらいたい。これから、児童育成クラブの子どもと事業を共有するにあたり、参加が増えるとスペースは狭いので、

スペースの確保も考えてもらいたい。また、同じ青少年館の中でも、ランドセル来所の子どもが遊びに行けないスペースがあるので、細かい規則をきっちり決めて提示したほうがいろいろスムーズに行えるのではないですか。

事務局： スペースの確保については、課題の一つであるが、児童育成クラブの子が遊びに来る日は、人数が増えるので、前もってわかるときは体育館等の場所を確保したい。また、青少年館とうらっこクラブについては、別の管轄になり管理もあるため、分けて実施しているので、これについてはご理解いただきたい。

副会長： 子ども達は、みんな元気に遊ぶ子ばかりではないので、体調がすぐれない子や静かに過ごしたい子もいるので、そういう子は静かに過ごせる環境を確保し、児童育成クラブの子どものうらっこクラブの参加は、強制ではないようにしてもらいたい。

会長： ありがとうございます。  
次は、要保護児童について、何かご質問やご意見はありますか。

委員： 児童虐待について気になるのですが、児童福祉司の人数が少ないと聞いたのですが、浦安対応の児童福祉司さんは何人いらっしゃるのですか。

事務局： 浦安市だけの対応する児童福祉司さんは2人です。

委員： 2人だけで199人に対応されているということですか。かなり、人数が多いですね。他の市町村から転入してきた子の情報、ケース移管はどのくらいできていますか。ある程度丁寧にできているのか、それとも今後の課題となるのですか。

事務局： 他の県から移ってきた場合、児童相談所から児童相談所には連絡がいくこととなります。市町村から浦安市には、移管措置ということで、文章や電話で連絡をいただいたりはしています。

委員： 直接の連絡はあるということですか。

事務局： そうです。

会長： ありがとうございます。それでは次の議題に移ります。

事務局： 平成30年度は、本日が最後となりますが、今回、委員さんから意見をいただきましたが、それらを反映させた基礎調査等を基に、次回以降は、本市の課題を分析し、計画を策定するための骨子案をお示したいと思っています。次回会議は6月ごろ第1回の会議を開催したいと思っています。  
また、人事異動について、ご報告させていただきます。

会長： 本日の予定の議事はすべて終了しましたので、本日の会議は、これで終了とさせていただきます。お忙しい中、ありがとうございました。